



■地方創生の総合戦略

地方創生の総合戦略を平成27年度に策定し、人口ビジョンとともに将来にわたって活力ある地域社会を創生していく計画として取り組みを進めてきました。4本の柱を基本に置いて、桂川駅南側道路整備や桂川駅舎の改築及び自由通路等の設置、ゆるら体験の杜のオープン、地域商社いいバイ桂川の設立、王塚裝飾古墳館の案内充実など、道半ばの事案もありますが、全体として大きな成果が得られたと認識しています。

平成31年度は計画期間の5年目を迎えます。町の主要事業の進捗状況に鑑みながら、これからの課題を整理し平成32年度からの新たな計画策定に取り組みたいと考えています。



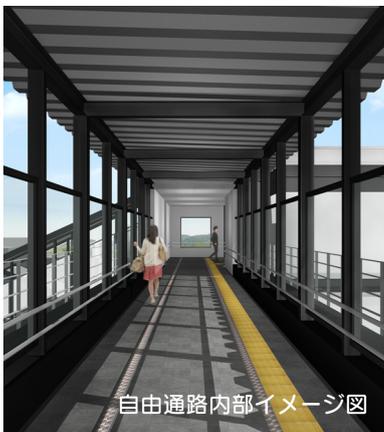
▲完成した駅南側道路



▲旧諫山医院前の交差点工事の様子 (H31年3月上旬)

■桂川駅南側道路

平成24年度から重要事業として取り組んできました町道山崎・上深町線いわゆる桂川駅南側道路は、供用開始に向けて着実に工事が進んでいます。国道200号線9の旧諫山医院前の豆田歩道橋交差点の改良に伴い、右折禁止などの新たな交通規制が発生しますので、周辺地区及び利用者への周知に努めています。



自由通路内部イメージ図

■JR桂川駅舎の改築及び自由通路等整備工事

JR桂川駅舎の改築及び自由通路等整備工事については、現在、九州旅客鉄道株式会社と事前打合せを重ねているところです。本年4月から仮駅舎や施工ヤード整備などの工事が始まり、2021年3月の完成を予定しています。今後の進捗状況につきましては、適宜、報告してまいります。工事期間中は、駅利用者や周辺地域の皆さまにご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

また、こうした事業の進展に伴い、周辺の新たな動きとして、大塚歯科医院の移転及びマンション建設や株式会社・麻生の宅地分譲など、いわゆる民間活力の導入が効果として表れています。



▲工事が進む県道豆田稲築線の一部

■県道豆田稲築線

県道豆田稲築線につきましては、来年春季の供用開始に向けて、順調に工事が進んでいます。課題の一つでありました桂川町商工会館は新築移転し、去る1月26日には落成式が執り行われました。そして、2月末時点で旧商工会館の解体が始まり、いよいよ役場横交差点から嘉穂総合高校そして旧上山田線まで眺望できるようになります。

また、泉河内川に新しく架かる橋の名称を募集しましたところ、24点の応募があり、この中から「平成七瀬橋」が選考されたところでございます。